



第 60 代理事長 鶴澤尚哉

本日第 60 代理事長に承認いただきました鶴澤尚哉でございます。栄えある大阪菓業青年クラブの理事長職を任せられました上は誠心誠意、任をまっとうしてまいる所存です。どうぞよろしくお願いいたします。

わたくしの青年クラブ歴は本年度で丸 11 年となります。2002 年春西班 OB の向井先輩から勧誘を頂き入会しましたが、最初は何も判らず、会員であることの意味など考えずに過ごしていました。5 年前に向畑先輩から個人的にキャンプに誘っていただき我が家も家族で参加しました。家族ぐるみで楽しく過ごせたことを覚えています。今思えばそのころから人事のルールが敷かれていたのだと思います。と同時に真剣に青年クラブの事を考えるようになってきました。それから 5 年間は「愛の菓子」運動、新春懇親会、定時総会など各室の事業を通して経験を積ませていただき、わたくしの中で青年クラブに対するスタンスが責任あるものへと変わってきました。

さて、理事長の任をお受けするにあたり運営テーマを「未来のために力を合わせよう」というごくシンプルな内容といたしました。そのテーマにはわたくしの三つの思いが詰まっています。

一つ目は言うまでもなく来年度に迎える 60 周年という節目をどういったものとしていくか？

来年 5 月に迎える青年クラブの満 60 歳に向けて残すところ 1 年余りとなりました。そこで先ほど発表させていただいた 60 周年プロジェクトチームを理事長直轄の組織として 7 名で発足しました。大変難しい役目となることと思われませんがひきうけてくれたチームのみなさんには本当に感謝しています。その 7 名を中心として 2 年越しの組織とし記念事業、記念誌、式典を企画立案し現役生一丸となってまとめ上げていきたいと思えます。もちろん OB の先輩方、並びに協賛会員の皆様方のご支援ご協力をお願いすることは言うまでもありません。皆様の忌憚ないご意見をお待ち申し上げます。また、3 年前より歴代理事長より積立いただいた 60 周年事業積立金は本年度より 60 周年事業準備金に振替し実行可能な予算といたします。

二つ目は OB 同窓会と現役会員との連携です。

昨年に第一回 OB 同窓会を開催させていただきましたが、OB 会員相互の親睦を深めることが第一義目的で、年 1 回程度の懇親会等の活動を行っていただきたいと思えます。加えて現役会員増強、60 周年に向けてお声掛けする OB の方々の情報を交換する場としてもご配慮いただければと思えます。

つきましては、本年より速やかなる運営のために事務通信費を本会計に予算計上し、活動費に関しては助成金制度を利用する形で OB 同窓会を円滑に開催いただけることとします。

三つめは会員増強です。

本年の現役会員数は 32 名となります。3 年前より定年卒業される先輩が出て参りましたので年々減少傾向になっています。今回中班に新入会員として藤田啓人君を迎えましたが、西班原田さん、南班安藤

さんが卒業されますので昨年に比しても一名減となります。これからの青年クラブを考えていくうえで会員増強は喫緊の課題であると認識しています。勧誘に関する情報がございましたらどんどご提案いただき勧誘に伺いますので皆様のご協力をおねがいいたします。以上、至らぬ点多々あることと思いますが、これからの一年間皆様のご指導、ご鞭撻のほど重ねてお願い申し上げます。はなはだ簡単ではございますがこれをもちまして就任のあいさつとさせていただきます。

↑ページト